

財政状況

■財政は健全に運営されています

国が示す4つの指標に基づき、財政の健全性を確認することができます。

指標	白河市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
①実質赤字比率	赤字なし	12.65%	20%
②連結実質赤字比率	赤字なし	17.65%	30%
③実質公債費比率	11.4%	25%	35%
④将来負担比率	70.1%	350%	

- ①実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合
- ②連結実質赤字比率 一般会計・特別会計・企業会計を合算した赤字の割合
- ③実質公債費比率 年間の借入金返済額の割合(3か年平均)
- ④将来負担比率 将来の負担が見込まれる負債の割合

基金の状況

■災害や財源不足に備えています

市の貯金にあたる「基金」は、災害発生時の緊急の対応や教育・文化の振興、市民福祉の向上などのために積み立てて活用しています。令和元年度は、台風19号災害への対応や、債務の繰上償還などにより減少しています。

年度末残高 117億268万円
(前年比 12億9,872万5千円の減)
市民1人あたりの貯金(※) 19万4,100円
(前年比 19,971円の減)

借入金(市債・企業債)の状況

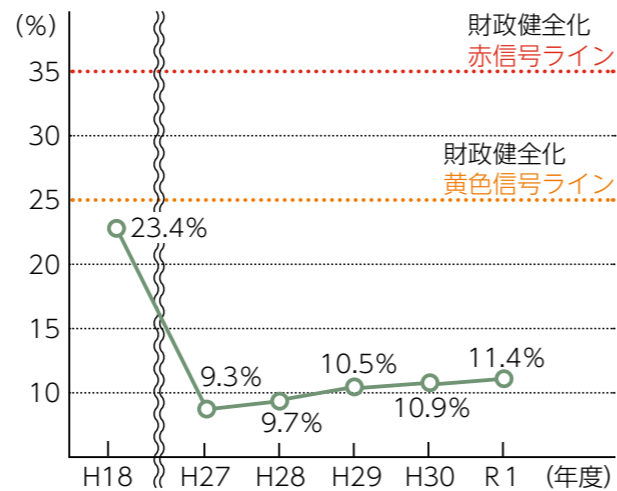
■将来の負担を踏まえ、計画的に活用しています

道路や橋、学校などを建設するには多額の費用がかかることから、借入金を活用しています。施設は長年にわたり使用するため、次の世代を含め、使う人みんなが公平に負担してもらうことが、借入金を活用する大きな理由の一つです。令和元年度は、繰上償還により減少しています。

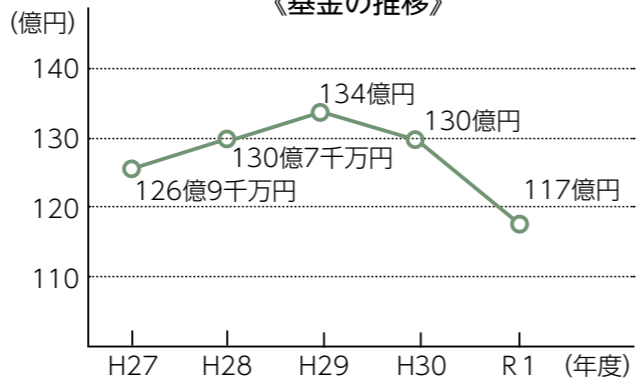
年度末残高 427億8,043万2千円
(前年比 11億9,042万8千円の減)
市民1人あたりの借金(※) 70万9,554円
(前年比 14,436円の減)

(※) 令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口・世帯数から算出(人口60,292人、世帯数24,753世帯)

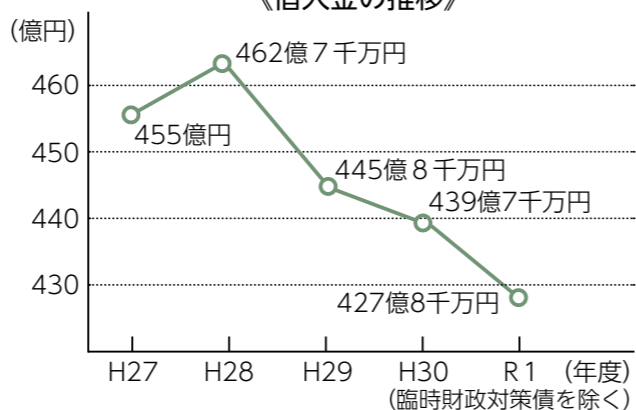
《実質公債費比率の推移(3か年平均)》



《基金の推移》



《借入金の推移》



令和元年度

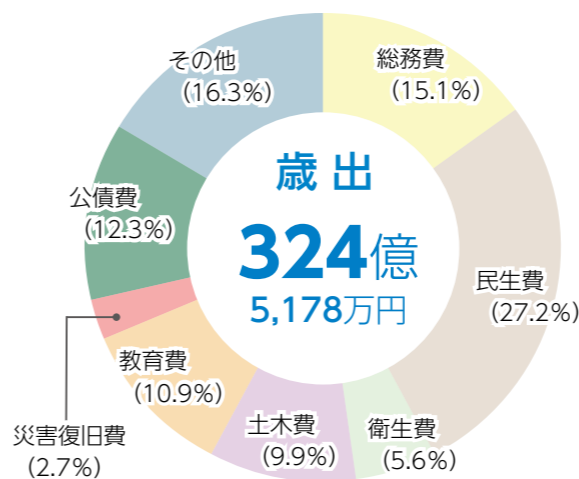
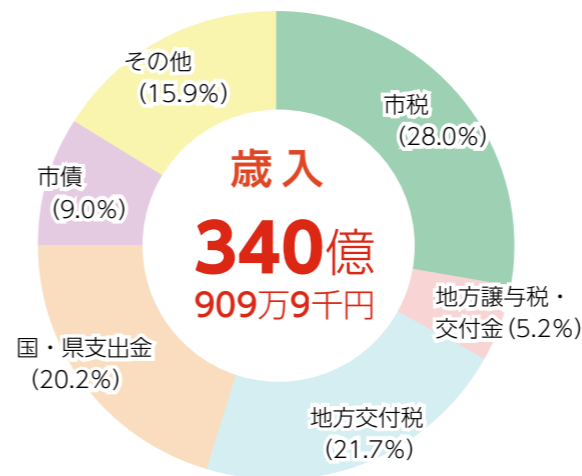
決算の状況

納めていただいた税金がどう使われているか、市の貯金や借入金はどうなっているかなどを知っていただくため、令和元年度決算の概要をお知らせします。

本庁舎財政課 内2333

一般会計

歳入と歳出の差引額15億5,731万9千円から、令和2年度に繰り越す事業の財源3億2,324万4千円を差し引いた実質収支額は12億3,407万5千円で黒字となり、次年度以降の財源となります。



特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
国有林野払受費	18万7千円	18万7千円
教育財産	78万6千円	78万6千円
小田川財産区	639万2千円	639万2千円
大屋財産区	24万3千円	24万3千円
樋ヶ沢財産区	16万9千円	16万9千円
土地造成事業	2,168万6千円	2,168万6千円
国民健康保険	58億5,647万4千円	55億8,517万8千円
後期高齢者医療	6億604万8千円	5億8,216万7千円
介護保険	59億8,934万1千円	56億6,885万8千円
地方卸売市場	1,993万7千円	1,993万7千円
公共下水道事業	20億4,825万7千円	19億9,016万円
農業集落排水事業	9億1,036万2千円	8億7,967万9千円
個別排水処理事業	7,578万3千円	7,186万8千円
合計	155億3,566万5千円	148億2,731万円

市税	市民税、固定資産税など	95億2,873万6千円
地方譲与税・交付金	国や県から一定の割合で配分される交付金	17億4,911万9千円
地方交付税	地方が標準的な行政サービスを行うため、財源の不足分を国が配分する交付金	73億8,649万7千円
国・県支出金	特定の事業に対して国や県から支出される補助金など	68億6,994万4千円
市債	市の借入金	30億7,430万円
その他	使用料・手数料・繰入金・繰越金など	54億50万3千円

総務費	市税の徴収・庁舎の維持管理など	48億9,944万7千円
民生費	高齢者福祉や児童福祉、保育園運営、生活保護など	88億3,146万8千円
衛生費	各種検診や予防接種、除染事業、ごみ処理など	18億2,357万4千円
土木費	道路の舗装や維持補修、河川や公園の管理など	32億554万8千円
教育費	幼稚園、小・中学校の学校教育、社会教育や文化財の保護など	35億2,324万7千円
災害復旧費	災害により被災した施設の復旧など	8億7,205万4千円
公債費	借入金の返済	40億659万2千円
その他	農林水産業費、消防費、商工費など	52億8,985万円

■1人・1世帯あたりの市税の負担額(※)
市民1人あたり 15万8,042円
1世帯あたり 38万4,953円

■1人・1世帯あたりに使われたお金の額(※)
市民1人あたり 53万8,243円
1世帯あたり 131万1,024円



公営企業会計

区分	収入	支出
水道事業		
収益的	13億4,752万8千円	11億5,963万4千円
資本的	3億9,196万5千円	10億7,426万9千円
工業用水道事業		
収益的	5,635万1千円	5,635万1千円
資本的	3,290万4千円	6,351万3千円